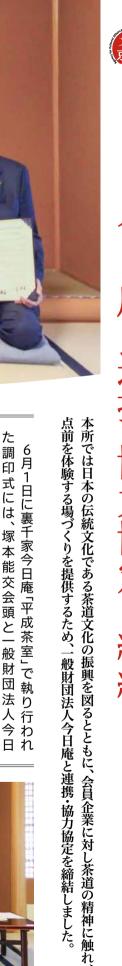


般財団法人人了口 口庵と連携

茶道文化の振興に向けて



した。 庵の千宗室理事長が出席し、協定書に署名をしまた調印式には、塚本能交会頭と一般財団法人今日

で、千利休の伝統を継ぐ裏千家茶道を保存育成すると しんでいただくプログラムも計画しています。 生いたします茶室や和室などを活用し、和の文化に親 化と産業の交流創造拠点」 (旧富岡鉄斎邸)に保存・再 文化庁移転支援事業の一環として来春完成予定の「文 員企業の経営者や従業員の皆さんが茶道に触れる場 献されています。本所では今回の協定を契機として、会 ともに、その精神を一般に普及して日本文化興隆に貢 つくりや広報活動に取り組むことといたします。また、 一般財団法人今日庵は昭和24年に設立された団

期待ください。 法人今日庵と様々な事業を展開してまいりますのでご 世界を魅了する京都ブランドの構築に向け、一般財団 文化と産業の融合をはじめ、文化の多彩な力による

6月1日に裏千家今日庵「平成茶室」で執り行われ

至是少量董

協定書に署名する千理事長(左)

塚本 会頭 コメント

経営環境にあるなか、今一度、茶道の精神 つけていただくきっかけとなればと思う。 時代を生き抜く知恵を、茶道から学び身に き合い、平常心を保つ心構えや、不確実な 皆さんがコロナ禍を機に自らと真摯に向 回の協定を結ぶこととした。会員企業の ち返っていただきたいという思いから今 な心、動じない心」を表す「和敬清寂」に立 である「和やかな心、敬い合う心、清らか 京都経済がコロナ禍で疲弊し、厳しい

千 理事長 コメント

う。伝統文化の中でも茶の湯とは、様々な のであれば、誠に光栄なことである。 がっていく、その役割をさせていただける かれることで、それが社会の活性化に繋 験された方々が色々なところに進んでい トである。今回の協定により、茶の湯を体 日本文化が取り入れられたポータルサイ 繋がっているようなものだと私達は思 敷地の中に立つ二つの建物で、長廊下で 「経済」と「文化」とは、社会という一つの

> 調印書の 全文はこちら













